

## 外来・担当医

月・水・木曜日 午前

**担当医:小笠原大介**  
(第二循環器科部長)

【受付・診察】 8:25~11:00

## 患者さまへのメッセージ

足の血管病はまだ世に広く知られている病気ではなく、日々の生活でなんとなく足がだるいののに我慢して生活されている方も多いと思います。この病気は適切な治療を受けることができれば、以前と変わらない元気な足を取り戻すことが可能です。

少しでも心当たりのある方がいらっしゃいましたら、どうかためらわず専門医のいる病院を一度受診していただくことをお勧めします。

## お問い合わせ・予約

日本赤十字社  
伊達赤十字病院

〒052-8511  
北海道伊達市末永町81番地  
TEL: 0142-23-2211  
URL <https://date.jrc.jp>

## 病院周辺地図



## 交通案内

道南バス「日赤入口(北海道)」から徒歩3分

道南バス「日赤前(伊達市)」から徒歩5分

JR伊達紋別駅からタクシーで10分

高速道路伊達インターから車で5分

駐輪場あり

駐車場あり

### 【受付時間】

午前8:25~11:00 午後0:45~3:00  
※診療科、曜日によって異なりますので、事前にお電話によるご確認をお勧めします。

### 【お問合せ先】 医事課外来窓口

☎0142-23-2211 (内線214)

### 【休診日】

- 土曜日・日曜日・祝祭日
- 年末年始(12月29日~1月3日)
- 8月28日(開院記念日)



# 伊達赤十字病院

## 下肢血管外来 のご案内 Information

☞ こんな心配のある方には  
早期の受診をおすすめします。

最近、どうも足が冷えて  
眠れない…

休み休みじゃ  
ないと、足が痛  
くて歩けない…

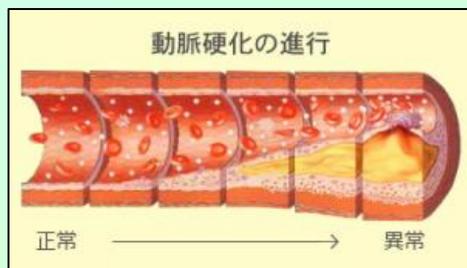
じっとしてい  
るのに、足が  
痛くしょう  
がない…

痛い方の足、指が黒く  
なってきた。怪我をした  
わけでもないのに…

## 🔍 下肢閉塞性動脈硬化症とは？

下肢閉塞性動脈硬化症は『動脈硬化』に深く関与しています。動脈硬化とは、血管の内側にコレステロールが溜まり血管の内部が狭くなり血液の流れが悪くなった状態をいいます。

動脈硬化はそもそも血管の老化現象のことであり、誰でも年齢を重ねれば血管は脆くなりますが、糖尿病や高血圧などの生活習慣病がある場合、通常より早く進行します。その結果、おもに足の先に十分な血液が届かなくなることで様々な血液不足の症状が出現ようになります。



## 🔍 症状の分類

下肢閉塞性動脈硬化症の症状は重症度でⅠ度からⅣ度に分類されます。

フォンテイン分類

### Fontaine分類Ⅰ度

「最近どうも足が冷えてよく眠れないんだ…」  
—冷感、しびれ—  
手や足の先が冷たく感じたりしびれたりする。毛糸の靴下が手放せない。

### Fontaine分類Ⅲ度

「じっとしてるのに足が痛くてしょうがない。散歩もできないよ…」  
—安静時疼痛—  
安静時でも常に痛みがあり、足の血の気がなく、青白くなっている。

### Fontaine分類Ⅱ度

「休み休みじゃないと足が痛くて歩けない。もう歳かな…」  
—間欠性跛行—  
少し歩いただけで足に痛みが生じ、ちょっと休むと歩けるが、また痛みが出る。

### Fontaine分類Ⅳ度

「痛い方の足、指が黒くなってきたんだ。怪我をしたわけでもないのに…」  
—潰瘍、壊死—  
血行不良から皮膚の一部に潰瘍ができる。さらに症状が進むと壊死してしまう。

## 🔍 検査

下肢閉塞性動脈硬化症が疑われる患者さんが来院された場合、まずはスクリーニングと呼ばれる簡単な検査を行い病気の有無や重症度を調べます。その後、治療の緊急性や治療内容を詳細に判断していくことになります。

### ① スクリーニング

末梢動脈疾患があるかを調べます

触診、ABI検査、SPP検査など

### ② 重症度評価

重症度や病変部位を診断します

脈波測定、分節圧測定  
SPP検査、超音波検査など

### ③ 病変部所見診断

病変部を更に精密に検査し治療戦略を立てます

血管造影検査、CTなどの画像診断

## 検査内容のご紹介

### ABI検査（スクリーニング時に実施）

腕と足首の血圧を測定し、その比を調べます。正常の方は下肢の血圧は上肢に比べて高いのですが、下肢の血圧が下回る場合には末梢動脈疾患を疑います。

その他検査内容等については、医師や看護師等にお気軽にお尋ねください。

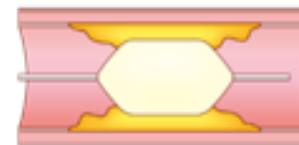


## 🔍 治療

患者さんの症状に合わせて、薬物療法や運動療法、血管内治療や外科的治療（バイパス術）を行います。なかでも、当院の特色である『血管内治療』について、下記にご紹介いたします。

### 血管内治療（カテーテル治療）

当院は下肢閉塞性動脈硬化症に対しカテーテルによる専門治療を特色としています。カテーテル治療とは、足の付け根や手首の動脈から細い管を挿入して行う治療法のことです。従来より狭心症や心筋梗塞の方の治療として日常的に行われてきました。ガイドワイヤーと呼ばれる細い針金に沿って、先端に風船のついたカテーテルを病変部まで導いた後、バルーンを膨らませることで血管を拡げ血流再開を目指します。またバルーン治療のみで十分な拡張や血流再開が得られないような病変に対しては、ステントと呼ばれる網目状の金属製の筒を病変部に留置します。



内側からバルーンによって狭窄病変部を押し広げ、内腔を拡大する。



網状の金属製ステントを留置し、内側から支える。

病状により最も良い方法をご提案します。